

センターだより

第4号

平成25(2013)年9月11日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

平成25年度吹田市教育研究大会

多くの先生方の参加ありがとうございました

8月27日に平成25年度教育研究大会が『今 吹田から未来の力を「地域に根ざした質の高い公教育の創造」をメインテーマに、「グローバル社会を生き抜くコミュニケーション力の育成」をサブテーマとして開催されました。教育委員の皆さんからのメッセージに引続き行われた、落語家の桂かい枝さんによる講演は、言語の違いを乗り越え、笑いを共通語として日本の伝統文化である「RAKUGO」を各地で公演された経験をもとに、英語を交えながらの楽しい内容でした。当日は**1498名**の教職員の参加がありました。なお、教育研究大会の報告につきましては、後日発行いたします。

夏季研修報告

夏季研修は60講座実施
参加人数は延べ1819名!

夏季休業中の研修は、猛暑の中たくさんの先生方の参加があり、それぞれの研修では、今後の指導につながる実践的な内容も多く、参加者の活発な意見交流や、指導に対する考えを深める機会になったと思います。研修に参加したことで自身の成長につなげるだけでなく、他の教職員に広め、各学校園全体にとっても有意義なものになることを願っています。

特別支援教育研修

219「ユニバーサルデザイン(UD)について」

～子どもへの伝え方の工夫～

講師：巡回コーディネーター

現在、各校園で取組まれているユニバーサルデザイン(以下“UD”)の例を持ち寄って交流し、UD及び支援についての意識を高めることを目標に研修を行いました。

参加された先生方からは、グループワークでの実践交流を通じて新たな発見や気づきがあったようです。アンケートにも2学期からの実践に生かしたいという意欲的な感想が多く見られました。また、研修の最後にはUD大賞を参加者で決めて表彰式も行い、和やかな雰囲気の中で終わりました。今回の研修で集まった実践集はライブラリにアップする予定です。是非ご覧ください。



217「発達障がいの理解と実践②」

講師：巡回コーディネーター

5/16に行った「発達障がいの理由と実践①」は主に自閉症に関する内容でしたが、今回の研修ではLD、ADHDの疑似体験により、障がいに対する理解を深め、その手立て、支援を行っていくうえでの大切なポイントなどを学びました。

参加された先生方からは「とても分かりやすかった」という感想が多数寄せられました。また、アセスメントにおいては苦手なことや困っていることばかりではなく、得意なことに目を向けると、それが支援の手立てになるという内容がありました。この観点は支援を行っていくうえでも大切です。



「心の成長を追う ～愛着を持たなかった子どもの事例から～」(兼 教育課題別研修78)

講師：吹田市立教育センター 竹内 道子 統括教育相談員

今回の研修では、竹内相談員から「愛着」という視点で心の成長について、実際に関わった事例を通しての具体的なお話がありました。参加者が主体的に考えられるグループワークの時間もあって、非常に充実した研修となりました。心の成長について段階を追って丁寧に説明してもらえたので、「心の成長には時間がかかる」ということが先生方には伝わったことと思います。結果ばかりを求めて焦り過ぎないこと、困った言動の背景には子どもなりの気持ちがあることを忘れずに、じっくり子どもと向き合いたいものです。

管理職研修

＜7月30日（火）夏季校園長研修＞

午前：講演「幼小中連携教育のための言語コミュニケーション能力の発達モデル」
講師 大阪教育大学 住田 勝 准教授

具体的な教材や子どもたちのコミュニケーション場面を例に、話すこと、また読む力における発達の違いについて学びました。



午後：講演「連携型小中一貫教育」
～高槻市立第四中学校区の取組から学ぶ～
講師 高槻市立赤大路小学校 服部 健 校長
高槻市立第四中学校 山本 佐和子 首席



中学校区の課題から小中一貫教育を推進してきた過程、3校の組織づくりや体制づくりについて、具体的に学びました。

また、幼稚園長は別会場にて、幼保一体化について、全体で討議しました。

＜8月9日（金）夏季教頭研修＞

午前：講演「信頼ある学校をめざして」
講師 吹田市教育委員 宮下 幾久子 弁護士

学校での様々なトラブルを法的にとらえ、どのような対策が望ましいか、についてお話いただきました。後半は質疑応答も活発に行われ、教頭先生が日々対処していることについて、法的なアドバイスをいただきました。



午後：講演「コーチングコミュニケーションで学校を元気に」
講師 株式会社宙(sora) ビジネスコーチ 栗栖 佳子 先生



様々なワークを通してコーチングの基本的な考え方、管理職としての聴き方や伝え方について学びました。

人権教育研修 7/31

元吹田市の教職員であった吹田市聴言障害者協会の坂本久美さんから、聞こえないということがどんなことかを、体験を通して学びました。ご自身の体験や聴覚障がい者としての教師生活等、坂本さんのお話から聴覚障がい者への理解を深めることができました。

子どもの困り感に寄り添えられるよう、コミュニケーション力を深化させたいと思います。楽しく役立つ研修でした。心のバリアフリー、社会のバリアフリーの話は良かった。



教育課題別研修

いじめ防止対応研修 8/8

花園大学の橋本 和明 教授をお迎えして、カウンセリング面接法や、調査面接法、司法面接法などのスキルを実際にペアで試していきました。

調査面接法を実際してみると、とても難しかった。質問に対する答えを用意しておくこと、何通りも想定しておくことの大切さがわかりました。



校内研修活性化 8/7

校内研究授業における研究協議を充実させるためのポイントとは何か…。この研修では、実際にビデオで授業を視聴し、模擬的に研究協議を行いながら、協議のやり方やファシリテーターの役割などについて学びました。



自分が苦手だったので参加しました。まとめていくことより、みんなの意見を出し合うことが大事な、と新しい視点を持つことができました。

応急手当普及員研修 8/19～20

この研修では AED を使った心肺蘇生法の指導を含む応急手当普及員の資格を取得できます。今年度は、3日間の研修に14名が参加しました。吹田市消防本部の救急課の指導を受け、心肺蘇生の重要性や模擬指導など、意欲的に行いました。

万に備えての自信が持てたと思います。課外クラブをもっているので、熱中症への対応・判断も学ぶことができました。定期的に AED の使い方など確認する必要があると感じました。



調理実習指導研修

この夏、食育研究グループでは初めての試みとして『調理実習指導研修』を実施しました。



当日は18名の先生方が参加されました。前半の講義では小・中学校の調理実習の違いにふれ、系統性のある調理実習の重要性について学び、献立づくりに取り組みました。また、調理実習では4班に分かれ、耐熱ガラス鍋で炊くご飯、みそ汁、ジャーマンポテトをつくりました。調理の合間や試食の時間には小中学校の垣根を越えて、日頃の授業のようすや取組みについて情報の交換ができました。

アンケートより

理論編と実習編に分けての内容だったので、とてもわかりやすかったです。

小・中の流れを見据えての指導について考えながら指導をすすめていけそうです。

ごはんの炊き方やデモンストラーションの仕方がとても勉強になりました。

小学校や他の中学校、栄養教諭の先生と交流できてよかったです。

情報教育研修

情報教育では夏季の研修として、今年度は21講座を開講し、のべ144名の先生方に参加いただきました。今回は参加者が多かった人気の研修を3つの感想を紹介します。

☆表計算処理の基礎・応用

- 簡単な操作であっても使い勝手のよい使い方を教えていただきとても助かりました。
- 楽しかったです。いろんな事が出来るんですね。新しく知ることは楽しいです。

☆One Note 活用法

- はじめてOne Note というソフトを知りました。とても便利でびっくりしました。
- 自分の情報を整理したり、調べ学習をしったりする時に便利だと思った。

☆Word2010の文書作成の基礎

- 正しい使い方がわかり、勉強になりました。これから時間短縮をはかって、色んな機能を使いたいと思います。

一方で今年度は参加者が少ない研修もありました。来年度に向けて、さらに参加していただけるように内容や日程などを検討していきます。

ステップアップ研修

夏季の研修は「授業づくり」をステップⅠ・Ⅱ合同研修として行い、さらにステップⅡでは子ども理解と人権教育研修を開催しました。延べ337名の参加があり、どの講座も熱心に研修する姿が見えました。

7月29日(月)授業づくり①選択研修

前半は「シナプソロジー」と「グローバル教育」を選択した教員が共に学び、後半は小学校「国語」or「算数」、中学校は「道徳」の講義や演習を行いました。講師はインストラクター・市内の校長、指導教諭、英語研究Gにお願いしました。



アンケートより

「やってみよう」「できない」などの素直な気持ちや意欲が芽生えて、子どもの頃のわくわくした感情を抱いた。普段の授業で取り入れたい。

普段の国語につかえる指導法ばかりで、とても勉強になりました。クラス全体をまきこみ、緊張感を持たせることを考えて授業をします。

24項目について勉強する良い機会になった。読み物資料を使っでの授業づくりは、資料の中に色々なメッセージが込められていることがわかった。

8月5日(月)授業づくり②

7月29日の選択研修、道徳、国語・算数で学んだことを活かし、グループ毎に授業づくりの過程や指導の工夫を交流して、授業案作成をしました。全体交流ではプレゼンテーション形式での発表から、ICTの活用、模擬授業を通しての発表等、各グループの工夫がうかがえました。



8月5日(月)ステップⅡ研修

講師 吹田支援学校 指導教諭 藤城光好先生

支援学級在籍の子どもへの理解と指導の実践をからインクルーシブ教育等の話を交え詳しく学びました。



英語教育研修

【小学校編】 8/1・8/2

AET4人による、バラエティーに富んだアクティビティを、活動しながら学びました。AETと親しく触れ合う時間も多くあり、ネイティブな英語のシャワーをあびるなど、学びの多い時間となりました。



楽しい雰囲気でもAETとも親しくなれた良かった。コミュニケーションには顔の表情や身振り手振り、声の大小、言い方が大切だと分かった。

【グローバル教育編】8/6

多くの研修リクエストのあった田尻先生による講演は、政治や経済、各国の文化も交えたお話でした。英語で伝えることの意義やグローバルな視野を持つ指導することを学び、さらに小中連携の在り方も考えました。



目からウロコ！生徒が職に就くことにまで思いをめぐらすことの大切さがわかりました。授業がしたくてたまらなくなりました。

- 公開授業と講演 -

講師 筑波大学附属小学校 二瓶 弘行 先生 **スーパーティーチャーに学ぶ②**

今年も二瓶先生に来ていただき、公開授業と講演会を開催します！

今年小学校から中学校へのつながりを考え、6年生対象の授業をお願いしました。「小6で学ぶ内容」「小学校の国語科で大切にしているもの」等を、中学校の先生方にも観ていただき、中学校国語科の授業づくりに活かしてもらいたいと考えています。

- 日 時 10月9日(水) 14:00~17:00
- 場 所 山手小学校 体育館
- 公開授業 **一物語の授業** (山手小学校6年生) 14:00~14:45
- 講 演 **「物語授業で育む『読みの力』** 15:00~17:00

中学校国語科の先生方は必見です！ぜひ、参加してください！！

講師紹介 筑波大学附属小学校教諭。早稲田大学第一文学部卒業後、新潟県内の公立小学校に十年間勤務。その後、上越教育大学大学院修士課程を修了。1994年から現職。立教大学文学部兼任講師、全国国語授業研究会理事、国語教室ネットワーク「ひろがれ国語」代表。著書 『「夢」の国語教室創生記』 『子どもが創り、子どもが学ぶ一語科の総合学習』 『新しい発展学習の展開国語科小学校5～6年』 『二瓶弘行の一日講座シリーズ』 他多数

9・10月の教職員研修予定

講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
フレッシュ研修	事務職員研修	42 「学校事務職員のとて働く」 講師 第二中学校 副主査 浦 憲太	教育センター 研修室1	10月18日(金) 15:30~17:00	経験年数5年目までの事務職員
教科領域別研修	英語教育研修	93 「小学校6年 Hi, friends2 を活用した研究授業」 授業者 桃山台小学校 教諭 荒木 大輔 講師 関西大学 教授 竹内 理 先生 ※英語担当者会と兼ねる	千里みらい夢学園 桃山台小学校	10月10日(木) 14:35~17:00	教職員
専門職研修	養護教諭研修	129 「保健室コーチング」 講師 ハートマッスルトレーニングジム 塾長 桑原 規歌 先生	保健センター 研修室	10月16日(水) 15:00~17:00	養護教諭
特別支援研修	特別支援教育コーディネーター研修	214 「状況調査について」 講師 吹田市立教育センター 主幹 福井将人	教育センター 研修室	10月28日(月) 15:45~17:00	教職員

☆6月18日付けで大阪府教育センターより、研修受講者への諸注意が通知され、各校園においても周知徹底されているところですが、吹田市内の研修においても以下の点について、注意されますようお願いいたします。

- ・教育公務員としてふさわしい態度・服装で研修に臨むこと・名札を着用すること
- ・研修時刻を守ること（緊急の場合は管理職を通じて連絡ください。）

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付する実施要項をご覧ください。

10月のさつきらるーむ(初任者教員等相談室)は、
10月8日(火)、10日(木)です。
申し込みは、教育センターまで(メールまたは研修申込にて)